

令和元年度

令和元年度第1回野々市市子ども・子育て会議議事録

会議日時 令和元年5月30日(木)19:00～

会場 市役所2階 201会議室

委員名簿

	所属・役職等	氏名
1	元北陸学院大学教授	金森 俊朗
2	金城大学短期大学部教授	金城大学短期大学部幼児教育学科 特任教授 和泉 美智枝
3	民生委員・児童委員協議会代表 (富奥地区会長)	民生委員・児童委員協議会 下 幸子
4	主任児童委員代表	主任児童委員 絹川 博
5	野々市市商工会代表 (商工会副会長)	野々市市商工会 副会長 高木 由次
6	野々市市女性協議会代表 (副会長)	野々市市女性協議会 副会長 副田 千恵子
7	野々市市学童保育連絡協議会代表 (たちのクラブ指導員)	野々市市学童保育連絡協議会 早川 雅代
8	野々市市子ども会育成連絡協議会 (事務局長)	野々市市子ども会育成連絡協議会 事務局長 村井 繁夫
9	幼稚園代表 (北陸学院扇が丘幼稚園副園長)	北陸学院扇が丘幼稚園 副園長 津田 之子
10	私立保育園代表 (ヴィテンSMCこども園園長)	ヴィテンSMCこども園 園長 中田 眞知子
11	市立保育園代表 (あすなろ保育園園長)	野々市市立あすなろ保育園 園長 竹田 宏美
12	子育て支援センター代表 (子育て支援センター菅原所長)	子育て支援センター菅原 所長 橋浦 佐和子
13	保健センター代表 (健康推進課長)	野々市市健康福祉部健康推進課 課長 若松 裕里
14	児童館代表 (本町児童館館長)	野々市市本町児童館 館長 長谷川 道子
15	野々市市PTA連合会代表	富陽小学校PTA 会長 福田 能久

16	児童館母親クラブ代表 (中央児童館カーネーションクラブ代表)	中央児童館カーネーションクラブ 北村 洋子
17	幼稚園保護者代表 (青竜第2幼稚園保護者会会長)	青竜第2幼稚園保護者会 林谷 容子
18	保育園保護者代表	エンジェル保育園保護者会 嶋田 智恵
19	校長会代表 (館野小学校校長)	野々市市立館野小学校 校長 作田 有子
20	学校教育課長	野々市市教育文化部学校教育課 課長 松田 英樹

※高木委員、長谷川委員欠席

事務局

事務局	野々市市 副市長	常田 功二
	野々市市健康福祉部長	肥田 千春
	野々市市健康福祉部子育て支援課 課長	徳野 伸一
	野々市市健康福祉部子育て支援課	北川
	野々市市健康福祉部子育て支援課	中田
	野々市市健康福祉部子育て支援課	福田
	野々市市健康福祉部子育て支援課	室野

次 第

1. 開 会
2. 副市長あいさつ
3. 委員自己紹介
4. 諮問（次期「野々市市子ども・子育て支援事業計画」の策定について）
5. 議 事
 - (1) 「野々市市子ども・子育て支援事業計画」の実績報告について
 - (2) 「子ども・子育て支援ニーズ調査」の実績報告について
 - (3) 幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の取り扱いについて
6. その他
7. 閉 会

配布資料

- 資料1. 野々市市子ども・子育て支援事業計画の実績について
資料2. 「子ども・子育て支援ニーズ調査」〈就学前児童用〉
資料3. 「子ども・子育て支援ニーズ調査」〈小学生用〉
資料4. 野々市市の副食費について
資料5. 「幼児教育無償化に伴う食材料費の見直し」
資料6. 令和元年度子ども・子育て会議スケジュール

議事録

1. 開 会	
事務局・徳野	本日は高木委員、長谷川委員は都合により欠席との連絡を受けております。早川委員が遅れているようですが、17名の出席が確認できましたので、野々市市子ども・子育て会議条例第6条第2項により、本会議が成立していることをご報告いたします。 会議に先立ちまして常田副市長よりご挨拶申し上げます。
2. 副市長あいさつ	
副市長	〈挨拶〉
3. 委員自己紹介	
事務局・徳野	新年度から新たに委員になった方もございますので、名簿の番号順に自己紹介をお願いします。
各委員	〈自己紹介〉
4. 諮問（次期「野々市市子ども・子育て支援事業計画」の策定について）	
事務局・徳野	常田副市長より野々市市子ども・子育て会議会長の絹川様に第2期野々市市子ども・子育て支援事業計画策定について諮問を行います。
副市長	〈諮問を行う〉
事務局・徳野	ただいま諮問いたしました書面につきましては、お手元に写しがございますので、またご確認をお願いいたします。議事に入る前に資料の確認をさせていただきます。 次第、委員名簿、諮問の写し、資料1～6がございます。

ここからの議事進行は会長の絹川様にお願いします。よろしくお願いします。

5. 議 事

絹川会長	早速、議事に入ります。 (1)「野々市市子ども・子育て支援事業計画」の実績報告についてお願いします。
事務局・徳野	日頃より本市の子どもたちのためにお力添えをいただき、ありがとうございます。 「野々市市子ども・子育て支援事業計画」の実績報告について、資料1に沿って説明いたします。 ＜資料1について説明＞
絹川会長	ありがとうございます。ただ今の実績報告についてご質問はございますか。 なければ、次に「子ども・子育て支援ニーズ調査」の実績報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局・中田	＜資料2、3に基づいて説明＞
絹川会長	ただ今の説明について、何か質問のある方はいらっしゃいますか。
林谷委員	細かいところで申し訳ありませんが、仕事があって、幼稚園に迎えに行き、保育園に迎えに行き、帰ってくるのですが、3ページ目の問10-1には子どもを迎えに行き帰ってくる時刻を記入するのでしょうか。記入する立場としたら、迷うので質問いたしました。
事務局・徳野	実際に帰宅する時刻を記入します。分かりやすいよう説明を加えるか検討させていただきます。
林谷委員	父親はたぶん仕事が終わったら、まっすぐ帰ってきて、母親迎えに行き帰ってくると思うので、この時刻で就労時間が計れないのかなと思いました。
事務局・徳野	検討いたします。
若松委員	アンケートですが、市民の子育て状況が調査の項目にも入っているので、一点お伺いしたいです。本日、読売新聞に出ていた記事で、園児を持つ保護者の半数は自分の子どもの頃と比べて、休日に子どもと遊ぶ時間が増えたことが載っていました。自分の子ども時代と比べて、休日に父親が子どもと遊ぶ時間が増えたと答えた割合が50%になったという記事でした。こういったことがあるので、子どもが家族と主に父親とどれだけ触れ合っているかという調査項目もあればいいのかなと思いました。
絹川会長	ありがとうございます。他に何かありますか。
村井委員	子ども食堂のところがざっくりとした質問ですが、これは答えられるものでしょうか。就学前の児童で親が忙しく、1人で食事したり、食べられなかったりする子どもが利用することができるのでしょうか。子どもたちが孤食とかで問題になっている中で、子ども食堂があれば、いつ行けるのでしょうか。もう少し踏み込んだ内容で市内のどのくらいの範囲にあれば、可能なのか、実現に向けた細かい質問にすればいいのではないのでしょうか。子ども食堂の説明もざっくりとしすぎていて、自分

	<p>は不勉強なので知らないのです。</p> <p>もう一点、就学前の児童が2000人対象ということで、資料1でいうところの実績値を全部足して、2300ですが、その中で2000人ほどをアンケート取るのででしょうか。小学生の中で3000人の中から2400人に絞ったのでしょうか。全員に聞かないのは何か意味があるのでしょうか。</p>
事務局・中田	<p>住民登録から抽出した結果、小学生1～6年生までの人数が3470名、未就学児は3475名とほぼ同数でした。この調査対象人数とさせていただきます。</p>
和泉委員	<p>郵送なさるのでしょうか。調査方法についても教えてください</p>
事務局・中田	<p>調査方法は郵送によるものとなります。返信用封筒を同封し、6割程度の回収率を見込んでおります。</p>
事務局・徳野	<p>先程の子ども食堂についての意見ですけれども、この2つの調査票は前回とほとんど同じような項目です。唯一、子ども食堂に関してだけ、新たに追加させていただきました。先程いただいた意見を参考にもう少し丁寧なものにしたいとは思いますが、あまり項目が多くなりすぎると回収率との兼ね合いと検討いたしまして、検討させていただきたいと思います。</p>
和泉委員	<p>子ども食堂の登場で、市町によっては貧困に関することを深く扱っているところもあるようです。子ども食堂について読みましたら、社会的養護の立場から野々市の子どもたちでそうした養護を必要とする子たちの現状がある程度つかめたら良いと思います。子ども食堂でどういう様態が見えてくるかによって、市全体の社会的に養護を必要とする子たちの動きがつかめるのではないかと思います。</p> <p>何らかの形でつかめるような項目を必要だと思っております。調査内容を見ますと、このような質問項目が一般的なのではないかと思います。詳細にすると書きづらい、もっと荒くすると見えてこないという気もしています。なかなか、このあたりの貧困などに関する問いは難しいなと思っているのです。ですので、幼児期の子どもが子ども食堂をとということにも不自然さもあるかもしれないのですが、色んな立場から、市としてももう少し状況把握をした方が良いのではないかと思います。</p>
絹川会長	<p>ありがとうございます。他に何かありますか。</p>
和泉委員	<p>お願いなのですが、5年間通した市サイドの計画に関しまして、事業計画や実績について、良くやったださっているし、私たちも心を砕いてきたわけですし、進展してきたなと思います。見込みの数も多く誤差が出たわけではないので、良かったのかなと思いますが、5年間という月日は長いようで、変動の多いこの時代で大切な5年間だったと思います。前回とよく似た内容も含まれていますので、前回の調査から読み取れること、そして今回の調査からどのような実態が把握できるのかということを慎重に分析したいです。この分析が次回の策定だけではなく、市全体の子どもの育ちを支えていく何らかの大きな役割を果たす立場に立って、データのみを見て、策定の道を見つけるのではなく、前回との比較をきっちりとやりながら、新たな野々市市の課題を見出していくような流れも必要ではないかなと思います。</p>

絹川会長	ありがとうございます。他に何かありますか。
林谷委員	私も隣の嶋田さんもそうなのですが、就学前児童と小学生両方に該当する家庭なのですが、無作為に抽出して送られる時に両方にあたる家庭もあるのではないかと思います。一緒に送れば切手代も安く浮くのではないかと思いますでしたが、複数送るとなると量的に厳しいかなとも思いました。無作為とはありますが、送る家庭を減らすことはされるのでしょうか。
事務局・中田	発送につきましては重複して、ご家庭に届くことはあるかと思えます。回答につきましては、小学生2人のお子さんがある場合は下のお子さんの分だけ、回答いただくことになっています。例えば、5年生と4年生のお子さんがある場合は4年生の子だけ対象とし、返信いただき、5年生は無回答でお願いします。小学生と保育園のお子さんがある家庭にはお手数ですが、両方についてご回答いただく形になっています。未就学児の2名のお子さんがある場合は上のお子さんを回答いただくというので、お願いします。
和泉委員	これは前回同様の扱いですね。
事務局・中田	そうです。
和泉委員	無作為抽出は守っていただかないといけません。
絹川会長	他に何かありませんか。なければ、ただ今の意見を踏まえた上でアンケートを修正し、ニーズ調査を行うようお願いいたします。次に幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の取り扱いについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料4、5に基づいて説明>
絹川会長	他に何かありませんか。なければ、次第6のその他に移ります。 議事1～3以外で皆様からのご意見、ご質問はございますか。 なければ、事務局からは何かございますか。
事務局・中田	スケジュールについてご説明いたします。 <資料6に基づいて説明>
絹川会長	スケジュールについて何か質問はございますか。 なければ、本日の議事が終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

6. その他

和泉委員	少しよろしいでしょうか。厳しい保育の現状があるというのはご承知の通りかと思えます。野々市の公立保育園でも、限界まで見なければいけない状況がやってくるかもしれません。とりあえず10月頃まで、厳しい状況がある。法人の保育園さんも満杯で引きうけていらっしゃるという中であって、前倒しで預けたいということになった場合大変な事態に起こってくる気がします。保育の質を維持していくことが何よりも大切ですので、支援の誘致が話題になり、方向性が定められたと思います。鋭意、その方向で行政のほうも頑張っていくなり、遅くなる前に支援の誘致
------	--

	<p>についての見通しを持ってたらいいと思います。これほど大変な市は石川県内にはないわけです。野々市市が大変な時期を切り抜けていくために、過重な労働にならないような方向性を見出していき、学童はおかげさまで定員の増加で嬉しいのですが、皆で力を合わせて、早く見出せたらと思います。今日は副市長もいらっしゃるので、こんなことを述べさせていただきました。</p>
<p>絹川会長</p>	<p>今ほどの意見も参考にさせていただければと思います。よろしく申し上げます。</p>

7. 閉 会

<p>事務局・徳野</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。絹川会長におかれましても、議事進行ありがとうございました。本日、委員の方からいただいた意見を参考に今後の施策やアンケートを実施して参りたいと思います。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。なお、本日の委員報酬につきましては前回と同じ口座に振り込みをさせていただきます。新たに委員になられた方、口座に変更がある方はお帰りの前に事務局にご報告いただきたいと思います。</p> <p>これを持ちまして、令和元年度第1回野々市市子ども・子育て会議を閉会させていただきます。お足もとが暗くなっておりますので、お帰りの際はお気をつけください。本日はありがとうございました。</p>
---------------	---